

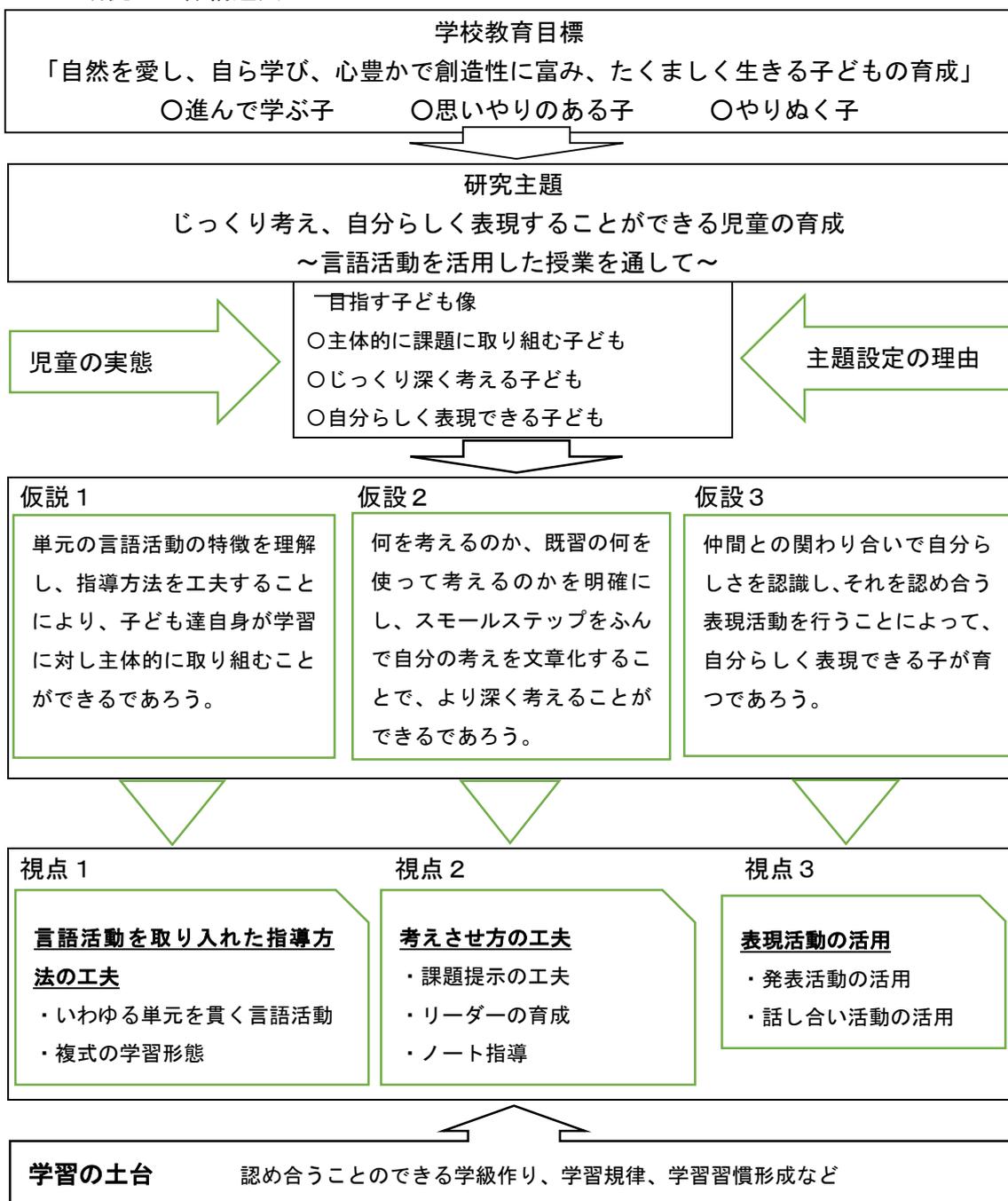
実践例 「学習指導の深化・充実」

「課題8 地域に根ざした学習内容の改善・充実」

I. 学校名 伊達市立大滝小学校

II. 研究の概要

1 研究の全体構造図



Ⅲ. 実践例

1 地域人材や資源を活用した交流教育

本校では、地域に根ざした特色ある教育活動を推進しており、『個性を伸ばし、心豊かでたくましい子の育成』を目標に交流教育を実践している。

① 福祉施設との交流

ア 目標

- ・地域の人たちとふれ合う喜びと地域社会への所属感を高め、よりよい地域にするための実践態度を培う。
- ・障害を持った方やお年寄りとふれ合うことにより、その生き方に学んだり、思いやりの心を持って接したりすることでノーマライゼーションの意識を育成する。
- ・行事を通して子供達の文化や創造的な活動を広げ、自主的に行動できる態度を育てる。
- ・交流を通して、自分を表現する態度を育て、誰とでも仲良く助け合って、明るく生きることができる。

イ 活動内容

- ・学校行事を中心とした交流（全学年）… 運動会、学習発表会における福祉施設とのふれ合い交流
- ・おおたきの杜との交流（1・2年）… 七夕集会等
- ・クアリゾートとの交流（1・2年）… 花壇の花植えを通しての交流
- ・優徳荘との交流（3・4年）… 七夕集会等
- ・優徳荘との交流（5・6年）… クリスマス集会等



自己紹介と歌の発表を交え、施設の方々と花壇に花の苗植えを通して交流



国語科の発表やゲームを交え、施設の方々と七夕の飾りを作ったり、短冊に願い事を書いてさし上げたりするなどを通して交流



ウ 成果

- ・施設利用者との交流を通して、人間として尊重し合う態度や思いやりの心を育むことができた。
- ・福祉に対する関心を高めるとともに、地域社会へ貢献する心情を養うことができた。
- ・子どもたちの文化や創造的な活動を広げ、自主的に行動できる態度や自己を表現する態度が身に付いてきた。

- ・施設で働く人達の様子を理解し福祉に携わる職業に関心をもつことで、キャリア教育につなげることができた。

② 自然・社会との交流

ア 目標

- ・自然のすばらしさ、偉大さにふれ、それらを大切にすることを育てる。
- ・動植物のたくましく生き抜いている自然の営みのすばらしさ、不思議さを理解し動植物を愛護する心を養う。
- ・環境にかかわる問題に関心をもち、自分の周りの環境を大切にすることを育てる。

イ 活動内容

＜自然との交流＞

- ・学級花壇の植物の世話や自然観察・飼育活動を通して、自然を知り自然の厳しさや恵みの素晴らしさに触れる。
- ・NPO法人「いきものいんく」から講師を招聘し、座学及び体験活動を通して、大滝の自然や生き物のつながりなどについて学ぶ。
- ・冬の厳しさに親しみ、歩くスキーを楽しむ。

＜社会との交流＞

- ・校外清掃から自分たちの地域の環境を知り、美化を行う。
- ・廃品回収活動等にも参加する機会を設けるなど物を大切にすることを育てる。(リサイクル活動)
- ・挨拶運動を広げる。



畑の先生を招いて、作物の植え付け・手入れ・収穫までを丁寧に習い、先生とともに収穫祭を開催



3つの縦割り班を編成し、花壇整備・日常の水やり・手入れなどの活動を実施



大滝クロスカントリークラブの方々を講師に、クラシカル走法を学び、おおたき国際スキーマラソン大会に参加(昨年度)

ウ 成果

- ・大滝区の自然の豊かさや素晴らしさを体感したり、自然環境に関わる問題に関心をもったりすることにより、自然の大切さに気付くことができた。
- ・動植物のたくましさや不思議さなど、自然の営みを理解することにより、命の尊さや動植物を愛護する態度が身に付いてきた。
- ・大滝区小中連携事業やボランティア活動を通して、地域環境の保全の大切さに気付

き、実践する態度を身に付けることができた。

- ・冬季の自然に親しみながら、歩くスキーの技能を身に付け、冬の体力づくりを図ることができた。

③ カナダとの交流（国際理解教育）

ア 目標

- ・他国の言語、生活、文化に対する興味や関心を深め、国際感覚を身に付け、同じ人として尊重し合い視野を広げ深める。
- ・自国と他国の生活・文化・考え方を学び、その違いを知り、それらを共に大切にしようとする態度や心を育てる。
- ・体験的学習（ふれ合い）を通して、お互いをより深く理解し、協力し、広い心で誰にでも接することができる。

イ 活動内容

- ・英語学習を毎週1回の5～6校時に設定し、全学年が国際理解を行う。
- ・カナダ教師の歓迎会、お別れ会を通して、ふれ合いの充実を図る。
- ・互いの生活・習慣、文化や伝統の交流を通し理解を深める。
- ・異文化に触れコミュニケーションを図る。
- ・歌や踊り、ゲームや料理を通し楽しくふれあいを深める。
- ・イングリッシュフェスティバル（カナダ訪問団との交流会 本年度は未実施）



大滝村時代からカナダ（レイク・カウチン町）との親善交流を行っており、レイク・カウチンからのALTを活用し全学年で国際理解学習を実施、また、隔年で大滝中1・2年生を対象にカナダ派遣交流事業を実施

ウ 成果

- ・自国と他国の文化や習慣の違いを理解し、外国の文化や伝統などを尊重する態度を身に付けることができた。
- ・低学年から国際理解学習を実践することにより、外国語（英語）を話すことに関心を高め、慣れ親しむとともに、コミュニケーション能力を高めることができた。